

3つの方向性に関するご意見一覧

資料4

方向性① 南区独自の防災力向上モデル～“あたらしい共助”の輪を広げよう～ について

No	ご意見	理由・背景
1	防災では一人一人の意識継続と全体の対策が必要不可欠だと思います。その上で、南区では校区間や地域でイベントを多く開催しているようですが、特に自由参加のイベントでは参加率がとても大切な様に感じます。定員があるかもしれませんが、受け入れ数の拡大や参加しやすいシステム作りが結果として防災力向上に繋がると感じました。	私は小さい頃に回覧板などで防災イベントの開催を知る事がありましたが、時間や場所、応募方法の複雑さで何度か断念した事がありました。その経験から、参加意欲に促せる事もイベント開催としては大切だと思うようになりました。活動自体を知らない、知っているても参加できないのは、市民・区民として行政と距離を感じざるを得ない状況だと思います。
2	防災の講習やオリエンテーションにゲーム要素を加えて楽しく覚えてもらうようにすると思います。	自分もそうですが、ゲーム要素が入っているとつい興味湧くと思います。それに小学生や小さい子供たちには楽しみながら飽きずに覚えてもらうことができると思います。
3	災害時には近所同士での助け合いが必要だが近所同士の連携が取れていない。	・第2の柱「誰ひとり取りこぼさない「防災福祉」を進めよう」を達成できる。 ・近所とのかかわりが少なくどういった支援が必要なのか共有する機会がない。
4	小学生防災リーダー養成講座についてもっと小学生が知れる場をつくるべき。	広報紙・ホームページ・ポスターは正直あまり見ないと思う。動画など興味を引くものを検討しては。
5	1. 南区内の地域ごとに防災イベントを開催すると思う。 2. 高校生なども含む若い世代への防災教育を行うべきだと思う。	1. 防災について知る・体験することができるイベントを南区内の地域ごとに開催することによって、同じ地域に住む人たち同士の”顔の見える”人的つながりが生まれる。それによって災害時に住民同士での共助の輪が広がり、かつ防災に関する知識も深まることになる。なので結果的に南区全体の防災意識の向上、防災力の向上につながるから。 2. 災害時に高校生などの若い世代が適切な知識を持っていれば、被災者たちにとって大きな力となると考えるから。
6	とてもよい試みであると感じます。第4の柱にある、「防災を担う人材を育てよう」においては、各高等学校など教育機関での課外授業をすることが効果的であると思います。	教育機関で課外授業を行うことによって、将来の進路や災害時の自主性に影響をもたらすことができると思うため。
7	とても良い取組だと思います。防災物資などがどれくらい用意されているのかなど知りたいです。	先日の能登半島地震で、物資が足りないと報道されており、南区の物資の量を知って安心したいから。
8	避難所の情報や場所の共有をGPSを利用し情報提供	通学している人たちから考えるとよく知った町ではないため不安
9	土砂災害、津波等の二次災害情報を正確に即時伝達	先日の能登半島での地震で津波に関する情報が出される前にすでに津波が到達しており、情報が伝達されるのが遅かったと思ったから。

方向性② 子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクト について

No	ご意見	理由・背景
1	住みやすい街づくりのために地域コミュニティを確立することやデジタル化はとても良いと思いました。子どもの支援では寄り添える人を増やすことも大切と感じ、支える側の共通認識を持つこともより良い支援に繋がると感じました。健康長寿では啓発の機会が少ない年代等に向けても発信していますが、発信だけではなく受取る気持ちにさせることがより良いサービス提供に繋がると感じました。	子どもの支援では、大人の行動や計画のままに子どもが連れられる形にならないようにする事が最も重要と感じ、気持ちを理解する、対応する力が必要だと思います。健活キャラバンでは開催場所の選定が課題と書かれている様に、小規模であっても、出来るだけ多くの機会を設けて、身近な存在になることが第一歩だと思います。
2	子育てと教育に関して、堺市の南区にももっと子供食堂や子供たちが生活できる場所を増やすと良いと思います。また不登校の子どもたちも通いやすい場所を作ってあげるといいと思います。健康長寿に関しては、階段とかでよく見る何kcal消費したかなど書いてあるやつを道路などにしてウォーキングルートを作るなどです。	授業で見た映像で、親が共働きなどで、なかなか子育てが充実していない子どもを中心に子ども食堂という同じような子たちが集まっている場所を見て、こういう場所をもっと増やして困っている家の助けになったら良いと思ったからです。不登校児が楽しく話し合えるような環境もつくると良いと思います。高齢者になると運動する機会が減るのでウォーキングルートをつくってあげてどんだけ歩けばどうなるとかを書いてあげたほうが進んで健康になると思います。
3	スポーツや昔ながらの遊びを通して教育・健康の促進をめざす催し(球技大会・水泳競技会等の区主催の大会)	昨今のデジタル社会でスマホ・ゲーム等の電子機器による影響で屋外での遊びが減少していると思ったため。
4	学生(高校生)と子どもが絡める場を作っては？	高校生は割と子どもが好き人が多いと感じる。大人とも話せる年齢なので保護者の人へのサポートもできるかもしれない。
5	未就学児の子どもと高齢者の交流の機会を区が主体となって設けるべきだと思う。	小さな子供と高齢者の関わりの機会を設けると、子ども、高齢者ともに良い刺激になると同時に高齢者は認知症の予防や運動の促進にもつながり、健康長寿にも関連してくると考えたから。
6	「外国人の支援」で、南区内の学校に通う留学生や移住してきた日本語が母語でない人々への生活上の問題などに対して援助する政策があるとよいと思います。	南区は、生活する上でバスを使わないと移動が難しく、車内などでは日本語表記しかなかったり、定期の購入手続きが日本語が堪能でないと難しい、と留学生のクラスメイトが言っていたため。
7	区民それぞれのニーズを調べる場(アンケートなど)を作るとよいと思います。	例えば、子育てをしている人でも、ひとりひとりサポートしてほしいことが異なると思うから。
8	定期券購入のインターネット化	駅での定期券購入の混雑を避けることができる。学生は特に保護者による支払いが多いため役に立つ。
9	役所の手続きの簡略化(フォームへ入力すると、必要書類に必要な情報が適切な箇所に配置される)	役所等の書類がどの箇所に記入をすればよいか分かりにくく、デジタル化した方が書類等の記入も分かりやすく、速いと考えたから。

方向性③ 南区ブランド戦略「みどりとともにかなえる豊かなくらし」について

No	ご意見	理由・背景
1	ロゴマークを通した南区の認知度向上は活動の広報としても効果的でとても良いと思いました。その上で、企業やお店がロゴマーク活用を推進しやすいような、近代的またはオシャレなものにするべきだと思いました。ブランドの認知度向上が出来れば、区外へのアピールポイントになるのでエリアを絞って少しずつでも活動の理解をしてもらう事が必要に感じました。	区や市が行うブランドやプロジェクトはそこに住んでいても知らない人が多かったりするイメージなので、やっぱり何よりも認知度が必要だと思います。私は中区に住んでいますが、令和3年に策定され今も取り組まれている地域計画そのものを知っていませんでした。自分の住んでいる地域の将来計画を知る機会が少なかったことにも驚き、南区のブランド戦略では「知ってもらう」ことを大切に事業展開して欲しいです。
2	農体験や収穫体験などを幼稚園や子ども園だけを対象にするのではなくもっと幅広い年齢の人たちにも体験してもらい、南区の「みどり」を知ってもらうようにしたいです。また南区の中でも南の方だけに偏っていると思いますのでもっと南区全体にも広げて行けたらいいと思います。	農体験などを通して農業の大変さなどを知ってもらい少しでも自然に興味を持ってもらえたら「みどり」の発展にも繋がると思います。地図を見た時に南区の中でも南の方だけが山や自然があったのでその良さを活かしつつ南区全体にも広げられたらもっと自然と触れられて良い影響になるかと思っています。
3	老若男女全ての南区民が参加可能な体験プログラムの実施	ブランド戦略としての「みどり」を区民としてあまり広く普及していないので、もっと広く知ってもらうために全区民の方々に体験参加型のプログラムを実施することによって広く普及させることができると思ったため。
4	ロゴマーク活用の際のSNS活用を大人ではなく学生の意見を取り入れ運営しては？	毎日SNSを使う学生の方が広められるかもしれない。
5	「みどり」をブランド化していくことは良いことだと思うが、ブランド内容に”住みやすいまち”という文言を含めるとより良くなると思う。	若年層の人口の流入・定着をめざすならばまずは若年層の人たちが「南区に住みたいと思うこと」、そして「南区に住み続けたいと思うこと」が重要であると考えます。なので、このブランドを確立させ都市魅力の向上を図ると同時に、住みやすさをアピールする必要があると考えたから。
6	SNSを活用し、南区の古民家カフェやハーベストの丘、公園などでSNS映えるスイーツやアクティビティ(手ぶらピクニックなど)を提供することで若い世代での話題になるようにすればよいと思います。	「みどり」だけでは若い世代は集まらないと思うためです。「みどり」+何かお洒落なものや流行をとり入れることで話題性が生まれると思います。
7	子ども世代だけでなく、中高生や大人も楽しんで使える公園を作るとよいと思う。	私も小学生の時は公園で遊び、みどりを感じていたのですが、中学生や高校生になってからは公園に行かなくなり、あまりみどりを感じなくなったから。
8	戦国時代の歴史を全面にアピールする	子どもたちにもわかりやすく、戦国時代は知名度が高いため。
9	堺市の歴史等をメディアを通して全国に出す	古墳など以外にも戦国時代の歴史を多くもつため、そういった面で行くと観光客等が来ることも増え、暮らしやすいまちづくりを知り、住民の増加も助長されると思ったから。